

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 中富 一郎
(4571 東証マザーズ)
問い合わせ先
取締役CFO兼管理部長兼社長室長
中 塚 琢 磨
電話番号 03-3548-0217

**業績予想の修正並びに特別損失（固定資産評価損及び資産除去債務）
の計上についてのお知らせ**

当社は、最近の動向を踏まえ、平成24年10月1日に公表しました当期の通期業績予想について下記のとおり修正しますので、ご報告致します。また、下記のとおり特別損失を計上する必要が生じたので、お知らせいたします。

1. 平成25年3月期通期 業績予想の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）
(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	370	△812	△828	△831	円 銭 △3,523.73
今回修正発表 (B)	371	△488	△406	△461	円 銭 △1,796.52
増減額 (B - A)	+1	+324	+422	+370	
増減率 (%)	0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	346	△333	△366	△398	円 銭 △1,741.80

2. 修正の理由

当社は、企業価値を最速で極大化するため最重要パイプラインの自社開発を前倒しで進めると同時に、自社で開発を進めている製品のライセンス活動を積極的に進め、契約時の一時金や開発段階に応じたマイルストーン収入及び治験等に必要の製剤供給収入等を主な売上げとして計上しております。

本年度は最重要パイプラインの中の NC-6004（ナノプラチン[®]）及び NC-6300/K-912（pH 応答性エピルビシンミセル）について契約時の一時金や開発段階に応じたマイルストーン収入、治験に必要な製剤供給収入を予定しており、売上げは平成 24 年 10 月 1 日付修正後の見通しを達成する見込みです。他方、研究開発等に必要な費用については、主な理由として最重要パイプラインの中の NC-4016(ダハプラチン誘導体ミセル)の米国での Ph1 試験の開始並びに NC-6004 の日本での Ph1 試験及び米国での Ph2 試験の開始が計画より遅れたことにより、開発費の期ずれが発生し、今期の修正後の開発費が支出見込みを 335 百万円下回り、営業損失、経常損失等が縮小する見通しとなったため、当期の通期業績予想について修正することとしました。なお、経常損失については為替変動による差益（85 百万円[1 米ドル 92.5 円で計算]）等を、純損失については第 1 6 期以前に購入した機械及び装置等について固定資産の一括減損処理費用（35 百万円）や資産除去費用（15 百万円）等を特別損失として見込んでおります。

3. 特別損失の内容

(1)固定資産評価損の総額 35 百万円

平成 25 年 3 月期末における研究用分析機器等の減損処理を行うことによるものです。

(2)資産除去債務の総額 15 百万円

当社事業所の移転時に賃貸借契約で定められている原状回復義務に係る費用の合理的な見積額であります。

上記（1）及び（2）により総額 50 百万円の特別損失を計上いたします。

（注）業績予想については、現時点での入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、予想には不確定要素が内在しているため、今後の様々な要因により、上記予想数値が変更される場合があります。

以上